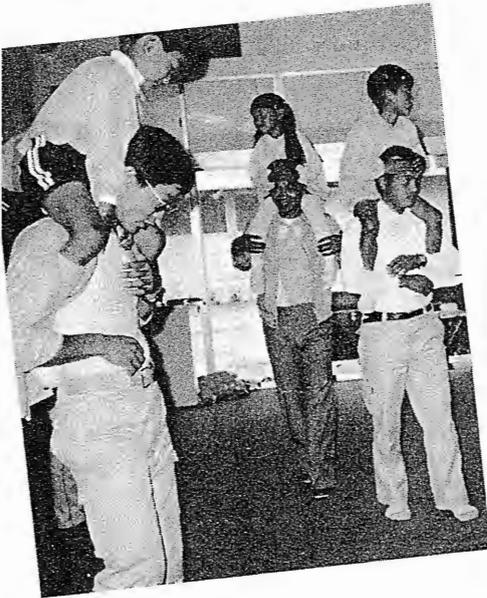




たまがわ

'87
7
No. 251



「お父さんと一緒に、楽しいなあ

6月の第3日曜日は父の日。この日、いずみ幼稚園で「父親参観」が行われました。不断、お母さんに比べ出番の少ないお父さんも、この日は大勢参加。入園時よりもずっとたくましくなったわが子のしぐさに目を細めながら参観していました。

手づくりのプレゼントをお父さんに手渡した後、一緒にゲーム遊びをしたり、肩車をしてもらったりとお父さんとのスキンシップを深め、楽しいひとときを過ごしました。

今月のページ

村老人ク連、	
内閣総理大臣賞に輝く……	2～3
夏の交通事故防止	
県民総ぐるみ運動……	4
ご存じですか、児童扶養手当と	
特別児童扶養手当……	5
血液助け合い運動	
あなたの気持ちを	
困っている人に……	6～8
公民館だより……	10
お父さんの勉強部屋……	11
お知らせ……	12

みんなの汗が花開く

村老人ク連、内閣総理大臣賞に輝く

夏から秋にかけて咲きほころぶ一八号線の花街道。一度通った方はきつと目をつぶつても思い浮かべることができるとしよう。それまでに鮮明な印象を与えてくれます。ドライバーの方には心をなごませます「花街道」として知られるようになり、そして、この長年にわたる花いっぱい運動が実って、このほど玉川村老人クラブ連合会が晴れの内閣総理大臣表彰の栄誉に輝きました。



賞状を手にし喜びいっぱいの矢吹老ク連会長

この表彰は、五月二十九日総理大臣官邸で開催された昭和六十二年の緑化推進連絡会議の席上行われ、全国から選ばれた二十五の個人、団体が受賞しました。県内からはわが村の老人クラブ連合会の一団体だけで、矢吹精助会長と榊枝定一副会長のお二人が式に臨まれました。

この緑化推進連絡会議(議長・後藤田正晴官房長官)の表彰は、緑化活動やその思想普及、啓発に功績のあった個人や団体をたたえるもので今回、老人クラブの会員の方たちが力を合わせて展開してきた花の植栽、環境美化が高い評価を受けたものです。

昨年は道路を守る月間にちなんで建設省が表彰する建設大臣に輝いています。この二年連続の栄誉は、まさに花街道づくりに精を出してきた老人クラブの方たちの真心と汗の結晶のあらわれといえるでしょう。

花いっぱい重点事業として50年にスタート



開花期は見事な花街道に

花いっぱい運動は五十年にスタート。当初は花の植えつけも限られた場所だけでしたが、この運動を連合会の重点事業としてとり入れ、以来、花がタネを増やすように年々植えつけの距離も延びてゆき、運動も大地にしっかりと根ざしてゆきました。現在の総延長は約十二キロに。

見事な「花街道」の影には地道な努力が

長期間咲いているマリーゴー

ルドを中心にサルビア・ケイトリー・ダリアなどが植えつけられ、夏から秋にかけての開花期は見事なフラワーロードに変わります。

この美しい光景は一朝一夕には成し得ないことは、みなさんにご存知だと思います。この影にはお年寄りの方たちのふるさとへの愛着心と長年の並々ならぬ努力があったからこそなのです。

つい先ごろもそれぞれの老人クラブで苗を植えつける作業が行われました。交通が渋滞しないうちにと早朝から作業が始められ、汗して植えつけ作業に励む姿には頭が下がる思いがします。

平年ですと四月上旬に種まき、

五月下旬に植えつけの手順で進められますが、今年は雨が少なかったため雨を待っての植えつけとなり、例年よりいくぶん遅れがみ。これからジョウロでの水まき、追肥、草むしりなどの作業が暑いさなかに行われます。

このように植えた後の手入れが行き届いているのも自慢の一つ。そして開花時には地域住民だけでなく、一般のドライバーの方たちの心を和ませ交通安全にも一役買っています。

今、この運動は 大きな広がりを見せて

また、この花いっぱい運動の輪は今、大きな広がりをみせています。青年団の草刈り作業の奉仕をはじめ、学校の環境美化にと約千本の草花の苗を寄贈された方もいます。この方は山小屋字高野の石森キクヨさん(78)で、六月初め須釜小学校に苗と肥料を持参し、ご自身でふれあい花壇に植えていくてくださったとのこと。子供たちは夏の開

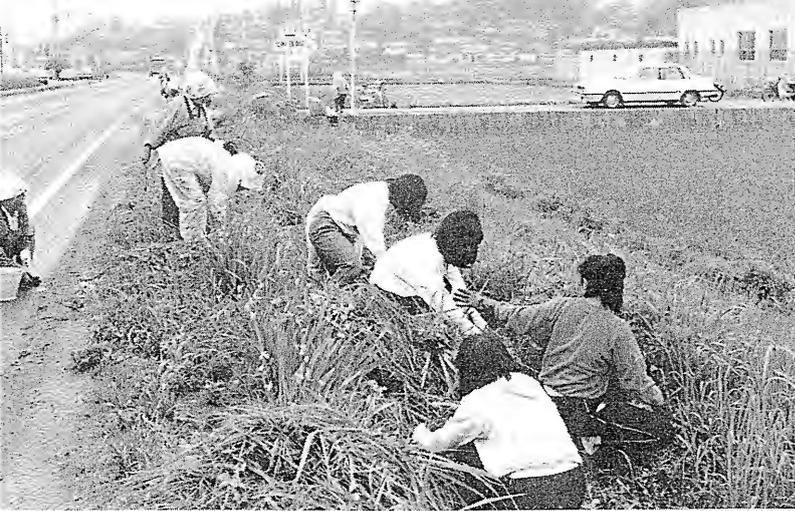
花期を楽しみに待ちながら手入れを一生懸命しようと張切っています。

そのほか、四辻地区では花いっぱい運動推進会議が昨年から発足し、地区ぐるみで家庭や広場、県道沿線に“花いっぱい”を推進し、地区内を花でうずめています。

花を愛する心情と豊かな情操をはぐくみ、郷土のまち、むら花で飾ろうというこの運動の目的は、村民の中に浸透し、確かな足どりで一步一步進められています。



学校の環境美化にと石森キクヨさん



青年団も下刈作業の手伝いを



花の植え付け作業をするみなさん

色紙書画 3 人展を開く

就業改善センターロビーで色紙書画 3 人展が開かれており、話題になっています。

この方たちは小針欣子さん、小山田伸さん、佐藤忠一さんの 3 人で、それぞれ趣味で書いている書や日本画を 12 点ずつ展示。

村を代表する方たちの作品だけに、いずれもプロ顔負けの秀作ぞろい。暇をみて訪れた人たちも 1 点 1 点作品を鑑賞していました。

話題



7月21日〜8月20日

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

フォー・ゆ・ドライブで安心運転

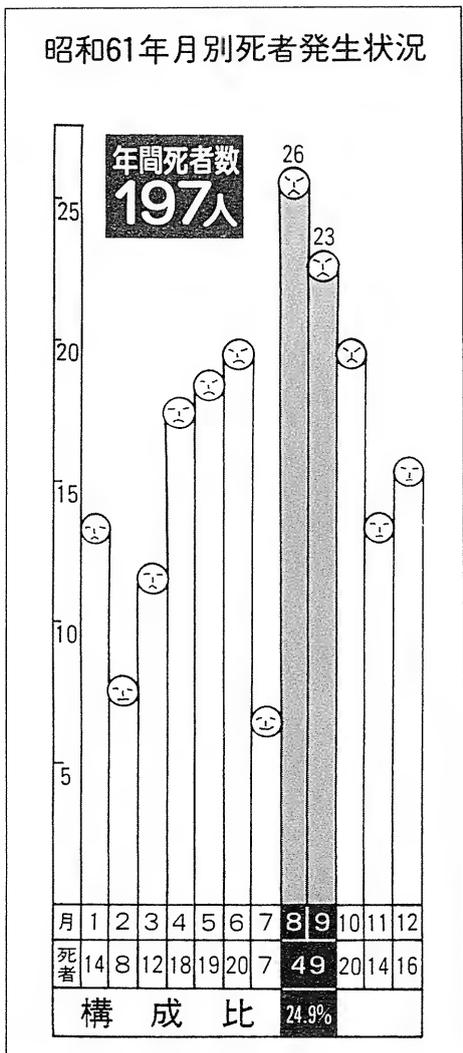
炎天につつまれるこの季節は心身共に疲労しやすく、レジャーや帰省などでマイカーの利用も増えます。また、夏休みとあつて、日中子供たちの姿が多く見られます。一見、活発に見えるても暑さによって注意力が散漫になりがちです。

七月二十一日から八月二〇日まで、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動が実施されます。あなたの安全運転と地域ぐるみで交通事故をなくしましょう。



テント村作戦でシートベルトの着用を呼びかけ

昭和61年月別死者発生状況



夏は暑さや行楽による疲労、夏の解放感からくる無謀運転などによる交通事故が目立ちます。特に八月・九月は死亡事故が多発する時期で、昨年は二カ月で四十九人の犠牲者がでています。ゆとりある運転と、疲れたら十分休息をとるよう心がけましょう。本運動の重点事項は次の四点です。

- ※過労(いねむり)運転、無謀運転をなくそう
 - ※子供と高齢者を交通事故から守ろう
 - ※正しいシートベルトの着用を身につけよう
 - ※必ず着用して走行しましょう。
- この季節は生活が不規則になりがちです。家庭での健康管理とゆとりある生活のリズムを持ちましょう。特に疲労の蓄積は、思いがけない事故につながる要因ともなりかねません。
- 暑さに加えて交通弱者である子供と老人は、ドライバーにとって大変危険な存在です。予測をたて、ゆとりある運転で常に安全運転を心がけましょう。
- ▼二輪車の交通事故をなくそう
二輪車の交通事故発生状況は昨年の死者の数が過去五年間で最高になっており、年々増加傾向を示しています。二輪車の特性をよく理解し、ヘルメットを
- ▼シートベルトは正しく締めてこそ命綱になるのです。死亡事故でシートベルトを着用していれば軽傷ですんだとか、助かったのではないかと思われる人が少なくありません。
- 次の点に特に注意しましょう。
- ▼ベルトの長さを正しく調整する
 - ▼ベルトはよじれないように着用する
 - ▼腰ベルトは腰骨に合わせる
 - ▼バックルは「カチツ」の音を確認する
 - ▼後部座席の同乗者にも着用の習慣づけをする
 - ▼チャイルドシート(幼児用)の利用普及

死亡事故ゼロ二、〇〇〇日達成
記念作文コンクール入賞作品

交通安全を守る



鈴木久美子
(須釜小6年)

玉川村では死亡事故が全々起きていませんが、交通事故は少

ずつ起きています。わたしの
お母さんも、この前、交通事故
にあってしまいました。トラッ
クに乗っていて土手に落ちたの
です。その時、トラックのガラ
スが割れて、手にささってしま
いケガをしました。わたしは、
少しのケガで良かったと思いま
した。でもその時、お母さんの
ほかに、よそのおばあさんが乗
っていて、そのおばあさんは腰

などを打って病院に入院しまし
た。
お母さんは手に包帯を巻き、
真澄ちゃんのお母さんに送られ
てきました。家には、親せきの
人たちとみんなで心配して待っ
ていました。お母さんが帰って
きたのは夕方になりました。帰
ってきてすぐ布団をひいて寝ま
した。お母さんはトラックに乗
っていてぶつけた足や肩などが
青むらさきになりました。それ
から時々、病院に行つてシツプ
や薬を買つてきます。その時は、
お父さんの車に乗せられていき
ます。

お母さんが寝ている時は、わ
たしがごはんの仕たくをしなけ
ればなりません。だから、やつ
ぱり交通安全をしっかり守らな
ければなりません。
六年生になつて妹が一年生に
なりました。朝、学校に行く
とき、妹の手をひいて、「まだ、
渡っちゃだめだよ。」と言つた
り、「後から車がくつからこつ
ちいこう。」と何回も言いなが
ら学校に行きます。
交通安全を一人ひとりが努力
すれば、玉川村は三千日を超え
ることができると思っています。そ
れに、もう最上級生なので妹や

弟、おじいちゃんやおばあちゃ
んにも車に気を付けてと一言い
つてあげるようにしたいと思います。
また、お父さんやお母さんに
はシートベルトやヘルメットを
きちんとしめたり、かぶつたり
してほしいと思います。そのた
めにはわたしたちが呼びかける
ことが必要です。家の人みんな
で努力して三千日・四千日とふ
やしていきたいと思います。
事故にあうとみんなが心配す
るし、迷惑もかかります。だか
ら、これからも交通安全を守る
ことに気をつけたいと思います。

ご存じですか
児童扶養手当と特別児童扶養手当

児童扶養手当や特別児童扶養
手当は、父親のいない子や障害
をもっている子のしあわせを高
め、その生活が豊かなものにな
るよう、その子どもを育ててい
る養育者に対して国(県)が支
給する制度です。支給資格等は
次のとおりです。該当される方

は、役場住民課で手続きをとつ
てください。

児童扶養手当

※支給資格

18才未満の児童で、次のいづ
れかにあてはまる児童を育てて
いる母親又は養育者。
・父母が婚姻を解消した児童
・父が死亡した児童
・心身に障害のある父をもつ児
童
・父の生死が明らかでない児童

・父に一年以上遺棄されている
児童
・父が一年以上拘禁されている
児童
・母の婚姻によらないで生れた
児童

※支給額(月額)

対象児童数 支給額
一人 三三、九〇〇円
二人 三八、九〇〇円
三人 四〇、九〇〇円

※支給制限及び要件

次のような場合は支給されま
せん。
・手当を受ける人などの前年の
所得が一定額以上するとき
・日本国内に住所を有しないと

特別児童扶養手当

※支給資格

心身に障害のある20才未満の
児童で、次のいづれかにあては
まる児童を育てている父、母又
は養育者。
・外部障害の児童(視聴覚障害、
肢体不自由等)
・内部障害の児童(血液疾患、
諸内臓障害)
・精神に障害のある児童(精神
病、てんかん、そううつ病)

・国民年金法に基づく老齢福祉
年金以外の公的年金給付を受
けることができるとき

※支給制限及び要件

次のような場合には支給され
ません。
・手当を受ける人などの前年の
所得が一定額以上するとき
・日本国内に住所を有しないと

・精神と身体の両方に障害のあ
る児童
・支給額(月額)
対象児童の障害等級支給額
一級 四一、一〇〇円
二級 二七、四〇〇円



困っている人に 助け合い運動

夏になると水の使用量が増え、水不足になりがちなことはいくらも知られています。しかし、同じ夏に、輸血に必要な血液が不足しがちになることは、案外知られていないようです。

夏だからといって病人やけが人が減るわけではありません。献血をして尊い命を助けたいというあなたの善意を、血液が不足しがちな夏にも生かしてほしいものです。

人工的につくれない血液だから

血の一滴は生命の一滴といわれます。血液は命が芽ばえたとから私たちの体の中で一刻も休むことなく生命の維持に不可欠な酸素、栄養物を運び、体温の調節に大きな働きをしているのです。

輸血によって多くの生命を救うことができるようになりました。しかし、どんなに科学が進歩しても輸血用の血液は人工的につくることはできませんし、代りの医薬品もないのです。そのためどうしても健康な人々の「献血」が必要となります。

200ccは二、三時間 赤血球は四週間ほどで回復

県赤十字血液センターでは移動採血車を運行し、職場や街頭



あなたの温かい愛の献血を

で献血のご協力をお願いしています。

産後六カ月以上経過している人

採血基準は次のようになって決めています。採血する前に医師が診断し、最終的にその適否を決定しますので初めての方でも心配はいりません。

また採血をしてからの健康状態を心配される方がいますが、二百ccの採血量は二、三時間で回復します。血液成分のうちで最も回復の遅い赤血球でも四週間ぐらいで元の数にもどります。それに採血量にしても健康上の支障は全くないのです。

- ※年齢 満十六歳から六十四歳までの人
- ※体重 男子は四十五キ、女子は四〇キ以上の人
- ※血圧 最高血圧が百、HG以上の人
- ※採血の間隔 前回の献血から一カ月以上経過している人
- ※その他 妊娠していない人、出

♥ 私もしています ♥ 献血者の声

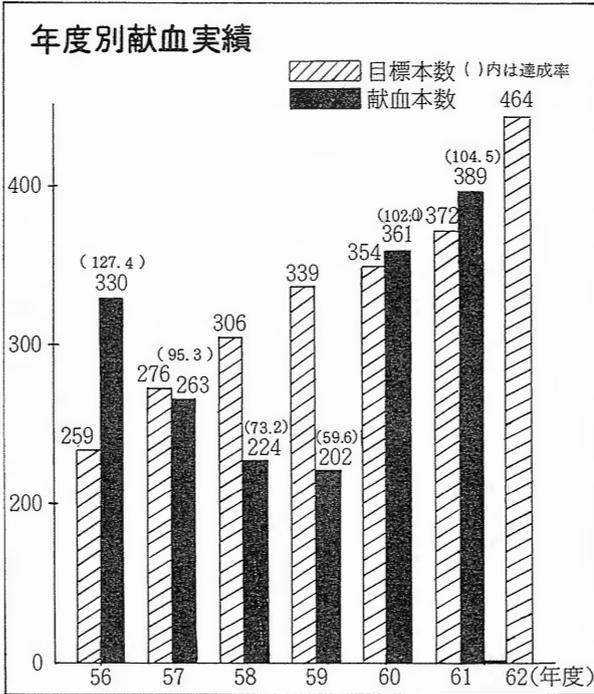
献血は目に見えない人助け



渡辺勝幸さん (竜崎)

今回で三十回ぐらいいかな。初めての時は自分も大人になった様な気がして何となく誇らしく思ったのを覚えています。それと私が二十九歳のとき手術をしたので、以前に血をわけていたお蔭で何人も人が輸血に来てくれました。お蔭さまで輸血する必要がなくて、その血を他人にやって非常に感謝されました。その時は人とのつながりをひしひしと感じましたね。

会社自体でも献血車が来ると協力態勢をとっていますので、自分と家族のために目に見えない人助けだと思って今後も続けたいと思っています。



あなたの気持ちを 7月は愛の血液

献血で守る尊い命

病气や事故、わたしたちの身のまわりには時として思わぬ災難が訪れ、輸血を必要とする場合がますます増加しています。献血の血液はほとんどが交通事故や緊急を要する手術などの

輸血に使われます。

県内でも毎年約十四万本（一本二百cc）、一日約三百八十本の血液が必要とされていますが、現状ではまだまだその必要量が確保されていません。

献血は健康な人ができる人助け

左図は、玉川村における献血目標数に対する献血数（実績）の推移です。目標達成率が最も良かった五十六年度の一二七・

四％をピークに徐々に下降線をたどっています。五十九年度は目標本数三百三十九本に対し、献血本数二百二本、目標達成率五九・六％で最も悪くなっています。しかし、六十年、六十一

年度とみなさんの温かいご協力のおかげで目標本数を達成することができました。この数字は献血への関心が高まってきたあらわれとして喜ばしいことです。また、昨年四月から四百ccの献血もできるようなり、すでに村内でも四十四人の方が協力しております。今年の目標本数は四百六十四本と昨年より九十二本多くなっています。

献血は健康な人なら誰でもできる人助けです。一人でも多くの方が、献血の輪に参加くださるようお願いいたします。

(次ページへつづく)

献血は心豊かな貯金の一つ



小林シノブさん(竜崎)

まず、献血をしていいと思うのは、肩こりがなくなると体の調子がよくなったような気がします。自分の健康状態がわかることですね。血液の検査が無

料でもらえるし、献血できるのは健康だからできるんですよ。お陰さまで「いい血」のお墨付きをいただいています。きっかけはある講演会で尊い血の話聞き、人のためになるんだということを知りとても感動しました。以来、心豊かな貯金の一つと思って続けています。つい最近も自転車で会場まで出かけ、献血してきました。当面の目標は三十回です。

四百cc 献血者

若いし、健康だからこそ



大野賢一さん(南須釜)

もう三回になります。四百cc 献血のことは知っていましたが、出向いていった会場で「とりま

よ。きっと私の体格をみて言ったんではないかと後で思いましたが……。(笑)少しは不安がありました。時間が二百ccの時よりも若干かかるくらいで、全く同じでした。健康には恵まれていますし、若いですから、少しでも役に立てたらという気持ちです。若い人たちへのPRを積極的にして、個人に通知される結果表をもっと効果のあるものにしたらいいと思います。

健康に役立つ献血

みなさんから献血された血液について、県赤十字血液センターではタンパクや、コレステロールなどの六つの項目の生化学検査(血液検査)を行い、その結果は後日、本人に郵送されます。

検査項目には標準値と本人の検査値が記入されていますので比較することもできます。また、検査結果を長期に保存し、自分の健康管理のデータとして役立つさせることもできるのです。

献血アンケート

50人に聞きました

必要な組織づくり、表彰制度等の提案も

愛の血液助け合い運動月間にちなんで、村民の中から五十人を選び、献血についてのアンケートを実施しました。

アンケート対象者 50人

回答者 49人・回収率 98%

1、あなたはこれまでに献血をしたことがありますか。

ある…………… 34人(69.4%)

内訳 (20・30代…………… 20人
40・50代…………… 14人)

ない…………… 15人(30.6%)

内訳 (20・30代…………… 6人
40・50代…………… 9人)

予想を上回る34人の方がこれ

までに協力されています。年代別にみても、ほとんど差異はありませんが、年齢が高くなるにしたがってないと答えた人が多くなっています。

2、「1で「ある」と答えた方におたずねします。献血をするきっかけは何でしたか。

*知人(親戚)の手術のため…………… 9人

*会社(職場)に献血車が来たため…………… 9人

*いざという時のため…………… 4人

*みんながやったので等(人にすすめられて…………… 4人

*自主的…………… 3人

*記念に(成人式・結婚)…………… 3人

*一度してみたかった…………… 2人

圧倒的に多かったのは緊急を要する知人等の手術のために献血をしたという方が九人で、会社で献血車が来たためと答えた人と同数。前者は年輩の方に、後者は若い世代に見うけられました。そのほか、交通事故などでいつわが身になってくるかわからないので、今のうちに少しでも役に立ちたいと答えた人もいます。

3、「1で「ない」と答えた方におたずねします。さしつかえなければ、その理由をお聞かせください。

*健康状態が悪い(貧血、低血圧など)…………… 6人

*手術後のため…………… 2人

*血を見ると具合が悪くなる…………… 2人

*会場まで出かけるのがおっくうだ…………… 2人

*不安だ…………… 2人

*勤めのため時間が丁度しない…………… 1人

ないと答えた十五人のうち、十人(前三項目)は健康上の理由になっていて、四・五十代に多く見られます。その反面、後ろ三項目は若い世代に見られる理由で、この五人の協力も不安材料をなくすためのPRや時間、

場所等を考慮すれば可能な数を示していると言えるでしょう。4、献血率を高めるために、何か提案、工夫などがありましたらお聞かせください。

このことについては次のような意見がでています。

●時間的なものを考慮する。(昼休みや日曜日等)

●人が集まる行事や成人式などを利用する。

●広報無線を活用し、PRに力を入れる。(場所・時間を前もって知らせる)

●組織的なものを作る。(協力体制の強化)

●献血の場所と実施回数を増やす。

●一人ひとりの意識の高揚を図る。(献血の大切さを知らせる。)

る説明会を開催) ●もっと利点を増やす。(村独自の表彰制度や献血者名の広報紙掲載など) そのほかには、半強制的にしては、地区に割当ててはどうか、などの意見も見うけられました。あくまでも献血は、善意の行為であり、強要すべきものではないと思われませんが、自分に直接関係がないとどうしても他人事のように考えがちではないでしょうか。献血の重要さや尊さを呼びかけ、関心を持ってもらうための努力とその必要性は明らかです。血液で困っている人へ、目に見えない贈り物としてあなたの温かい真心をお届けください。

ご協力ください

7月に次の日程で献血車が来ます

月 日 …………… 7月29日(水)

時間・場所

- ・中根精工(株)前 午前10:00~11:00
- ・駒木根工業(株)前 午後0:20~1:00
- ・加藤化工(有) 午後1:20~1:40
- ・福島双羽電機(株) 午後2:00~2:40
- ・玉川村役場前 午後3:00~3:40

シリーズ

税のアラカルト ②

固定資産の

Q アンド A

Q 私は、昭和61年11月に自己所有地の売買契約を行い、昭和62年3月には買手への所有権移転登記を済ませました。昭和62年度の固定資産税は誰に課税されますか。

A 昭和62年度の固定資産税は、あなたに課税されます。固定資産税は、地方税法の規定により、土地については賦課期日（毎年1月1日）現在の土地登記簿に所有者として登記されている人に対し課税することになっているからです。（家屋の売買があった場合も同様の取扱いとなります。）



社会にいきる税

国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育や科学の振興など、幅広い分野にわたって行っています。

税金は、このように国が活動するための大切な財源であり、共同社会を維持するための会費といえます。



大麻やけしに関係した事件が あいついでいます。六月と七月の二カ月間は不正大麻・けし撲滅運動の強化月間です。



不正大麻・けし撲滅運動

6・7月は強化月間です

- ・ 茎の上の方から出ている葉は心臓形をしている。
- ・ 葉は無柄で、つけ根が茎を抱き込んでいる。
- ・ 茎が太く、しつかりしている。
- ・ 無毛で、あつても極めて少ない。
- ・ 全面がろう質なため、白っぽい緑色をしている。

建設業退職金

共済制度のお知らせ

この制度は、中小企業退職金共済法によって作られた制度で、建設業者や建設現場で働く方たちが対象です。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金ではなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、雇用された期間全部を通算して退職金が支払わ

福島空港建設用地として農地等が買収される農家のみなさん方は、今後の生活再建のために代替農地（特に水田）の確保を強く希望しております。

一日も早くこの問題を解決するために、関係機関のご協力をいただきながら努力しているところです。更に地域のみなさん方にも、この重要な代替地の提供にぜひご協力くださるようお願い

福島空港建設促進のため

代替農地提供のお願い

いたします。

なお、代替地の提供者には税法上の特典が受けられます。詳しくは左記にご連絡ください。

空港建設事務所
☎〇二四八―七三―三四九二
玉川村役場企画課
☎五七―三二〇一

は、左記にお問い合わせください。
この制度について詳しいことは、左記にお問い合わせください。
福島市五月町四―二五
福島県建設センター内
建設共福島県支部

☎〇二四五―二二―〇二四四
内線六

公民館だより

村民球技大会

声援の中・ハッスルプレー

ソフト
ハレ
小高チーム、南須釜チームに栄冠

県民スポーツ大会の予選として行われる村民ソフトボールと家庭バレーボールの大会が六月十四日、村民グラウンドと勤労者体育センターを会場に行われました。出場チームはソフト・バレーともに十一チームで、各地区から選びぬかれてきた選手たちは、色とりどりのユニホーム姿に身を包み、大ハッスル。日ごろあまりスポーツには縁のないお父さんやお母さんたちも、この日ばかりは若さを大いに発揮し、ファインプレー、珍プレーなども続出。熱戦を展開していました。

試合結果は次のとおりです。

ソフトボール	優勝	小高チーム
	準優勝	川辺チーム
	三位	南須釜チーム・北須釜チーム
家庭バレーボール	優勝	南須釜チーム
	準優勝	中チーム
	三位	北須釜チーム



優勝の小高チーム(上)と南須釜チーム(下)



ソフトボール

溝井貞光さん
(小高チーム・監督)



六十二年度村の最初の大会で

喜びの声

家庭バレーボール

杉山トシ子さん

(南須釜チーム・キャプテン)



「優勝」このうれしさ、いい響きで体に伝わってきます。今

優勝し、幸先良いスタートでうれしい限りです。今回は、基本プレーを大事にし、サインプレーもこれまでになく成功率が高く、満足のいく大会でした。

それに選手全員が出場し、練習に励んだ成果と選手それぞれの特長を発揮することができたのも大きなプラスになりました。今度は郡大会です。さらに練習に励んで昨年より一つ多い金星を目指し頑張りたいと思っています。最後に区長さんはじめ、地区のみなさん、温かいご声援本当にありがとうございます。

年はチームワークに重点を置き、練習に励みました。そして若い人たちが一丸となって頑張ってくれたおかげで、再びこの感激を味わうことができました。

郡大会でもこのチームワークの良さをくぐさず、昨年よりも少しでも前に進みたいと思います。試合当日には、区長さんをはじめ役員の方々、それに婦人会のみなさんなどたくさんの方たちから体育館がわれんばかりのご声援をいただき、力強く試合ができましたこと、厚くお礼を申し上げます。

7月の行事予定

- 10日(金)青少年育成村民会議 (家庭部会)
- 14日(火) (総務部会)
- 15日(水)第3回高齢者教室
- 20日(月)第3回婦人学級
- 26日(日)第21回村民登山会
- 28日(火)第三回青年教室

募集

ホームステイの家庭

在日外国青年と県内青年との交流研修が次の日程で行われ、あわせて外国青年を受け入れるホームステイ家庭を募集いたします。

すばらしい出会い、心ふれあう交流にあなたも参加しませんか。

※ホームステイ
き 八月二十三日〜二十
六日

募集家庭 県内の四十五家庭
申し込み、お問い合わせは県青少年婦人課(☎〇二四五二一
一一一一)又は、役場公民館
(☎五七一一三〇一)にお願い
します。

年金

住所変更は

速やかに

国民年金から老齢(基礎)年金や通算老齢年金、障害年金などを受けている方が、住所を変更した場合は「年金受給権者住所・支払機関変更届」を提出しなければなりません。

もし、提出が遅れますと各支払期ごとに送られてくる支払通知書が、旧住所地に送られたり、

迷子になったりして年金が受けられなくなる場合があります。住所を変更したときは、役場に備え付けの用紙がありますので速やかに届けるようにしてください。

「現況届」は必ず提出

老齢年金・通算老齢年金を受けている方が、引き続き年金を受けけるには毎年誕生月の末日までに、役場または支所で記載事項の証明を受けた「現況届」を提出することになっています。

この「現況届」は、年金受給者の生存を確認するためのもの

です。そのため、提出を忘れずと年金の支払いが一時止められますので注意してください。

なお、提出の時期になっても用紙が届かないときは、役場住民課または支所にお問い合わせください。

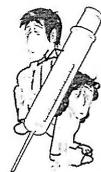
一口医学

薬は水で服用を

貧血の薬をお茶で服用してはいけないというのを知っている人は多いのですが、意外と守られていないのが薬を水で服用

七月は薬物乱用防止 広報強化月間

覚せい剤やめますか、それとも人間やめますか。七月は「薬物



乱用防止広報強化月間」です。この機会に薬物、とくに覚せい剤の恐しさを再確認しましょう。

することです。これは原則です。カゼ薬をアルコール類と一緒に飲む人がいます。薬は二種類以上の併用で強くなる(相互作用)ので、素人判断での併用は絶対禁物です。特に催眠薬や鎮痛薬との併用は危険です。

また、アルカリ性の薬を酸性

のジュースで服用すると中和され効果を失いますし、牛乳も成分が薬の効果に影響を与える場合もあります。それに、子供用の薬は飲みやすいシロップが多くなっていますが、一度に多量に飲んだりしないように注意しましょう。

お父さんの勉強部屋

14

来客の多い家庭

東京都立大学教授
詫摩武俊

父親の仕事の種類や父親の性格によることが多いのですが、お客が多い家庭とそうでない家庭とがあります。統計資料によるわけではありませんが、他人の家庭を訪ねるとか自分の家庭に客を招待するという機会は、戦争前に比べて減っているの

はないかと思えます。家庭での接客用の場所が十分でないこと、外に会合する場所がたくさんできて、それを利用するようになったこと、仕事をもつ主婦が多くなって客を招くだけの気分的ゆとりがないことなどが理由として考えられます。

欧米のように気軽に客を自宅に招くという習慣は、一部を除いてはまだあまり定着していません。

それでも客を迎えることが好きで、よく一緒に連れて帰ってきたり、これといった用事がなくとも訪ねてくる人がいる家庭があります。その父親が人から好かれる人柄であると考えていいでしょう。明朗で世話好きな人、温かみのある人、話のおもしろい人であることが多いのです。

客の多い家庭で育った子供は、概して幸せであると思います。

いろいろな考えをもち、性格もさまざまな大人たちと、幼少の時から接触できるのは得難い経験です。客の中には子供に話しかけたり、遊んでくれる人もいます。いつも見ている親とは顔も声も動作も違う大人に接することにより、人間の多様性についての認識を深めることができます。いろいろな人がいて世の中は維持されているのだなという実感ももてるのです。

子供の年齢によりますが、子供も客のいる席に出るのはいいことです。他人の話を知ること

ができます。親が、客の前ではお世辞を言い、帰った後その客の悪口を言うのは好ましくありません。父親や母親が客をどうもてなすか、ということを通して子供は人とつき合う基本を学んでいくのです。



